

## 第2次仙北市行財政改革大綱（素案）に対する意見と市の考え方

平成23年5月15日～6月14日までの募集期間中、2名の方から19件のご意見をいただきました。ご意見の内容と、ご意見に対する市の考え方は次のとおりです。

### I. これまでの行政改革の取組に該当するご意見

No.	ご意見	ご意見に対する市の考え方
1	仙北市の集中改革プランが平成18年3月に公表されている。 平成18年から22年度まで行政改革の実施により財政的にどう貢献されたか、出来るなら数値で表してほしい。	大綱中、主な取組実績は掲載しておりますが、全項目については現在作成中であり、今後、ホームページ等で公表させていただきます。

### II. 行政改革大綱の推進方針に該当するご意見

No.	ご意見	ご意見に対する市の考え方
1	行政改革の推進にあたり誰でもわかる「理念」の提示があったらと思う。	ご指摘に従い、【Ⅲ第2次仙北市行政改革大綱策定の必定性】に、『「市民との協働による効率的な市政運営」を念頭に』を盛り込みます。

### III. 行政改革の具体的な取組に該当するご意見

No.	ご意見	ご意見に対する市の考え方
1	集中改革プランで数値的な目標があったように「第2次仙北市行政改革大綱」においても数値化できるものは極力数値で表してほしい。	「第2次仙北市行政改革大綱」に示された重点項目の具体的な取り組みについて、「第2次仙北市行政改革大綱実施計画書」により実施項目・年度目標・数値目標の設定を行い、公表するとともに着実かつ計画的に行政改革を推進していきます。
2	行政改革懇談会をはじめ、さまざまな会議で出された市民の要望・ニーズを整理し、重要度、優先順位を考慮しこの「第2次行政改革大綱」に多いに反映させてほしい。	市民のための行政改革であり、行政改革懇談会の意見等を踏まえ作成いたしました。また、今後の社会経済情勢、市民ニーズ及び財政状況等の変化に適切に対応される必要が生じた場合は、見直しを行います。
3	PDCAのサイクルを多いに活用し事業の遂行を行ってほしい。	本大綱中、行政評価システムの推進を取組項目としております。現在は政策体系の基礎をなす事務事業を評価対象とした整備を進め、職員への目的及び課題意識の醸成を図り、段階的に施策そして政策評価へステップアップし、市民サービスの向上を目指します。

#### IV. その他のご意見

No.	ご意見	ご意見に対する市の考え方
1	人口減少、少子高齢化、加えて収入減と支出増、市職員も我々も改めて現状を認識し、危機感を持ってことに当るべきと思います。	ご指摘いただいたご意見は、大綱の素案に関するものではなく、個別の具体的な事項に対するご意見であると考えます。今後、市政運営及び行政改革を推進していく場合の参考にさせていただきます。
2	公務員は有識者が多く、経済的にも安定していると思います。誇りと自覚を持って大道を歩いてください。	
3	外部評価委員会も必要です。補助金・公営企業の経営健全化には、今迄以上に厳しく、市民にも明らかにして下さい。	
4	市の財政基盤を確実なものにして、ゆめゆめ破産した自治体にならぬようお願いします。	
5	職員一人一人の目的意識や考え方が仕事に大きく左右すると思います。	
6	効率的という言葉ばかりでなく、市民のための施設運営を考えて欲しいです。	
7	「仙北市民ガイド」は市民のためばかりでなく、職員も熟知して、窓口で案内して欲しいものです。	
8	部署の仕事の内容と人数は、特に考慮に価します。	
9	市職員や議会議員の定員数削減、給与や報酬の減額は必須です。財政の健全化に大きく左右します。	
10	職員の能力開発と人事管理は、最も大事なことであり、難しいことかも知れません。特にその立場にある方に、その取り組みに期待します。	
11	市民から年度末の人事異動を見ると一年でかわったり、関係の薄い部課から異動したりして、意外に思います。	
12	地域運営体の今後の進め方が注目されます。いかに地域住民が関心を持って参加するか、そのためにはどんな活動（事業）を工夫するのかです。各運営体が一堂に会して活動を発表し、それに市民も参加する機会があっても良いと思います。	

No.	ご意見	ご意見に対する市の考え方
13	NPOやボランティア団体、地域に住む人材の活用も重要です。男女共同参画社会は、それらの活動の中でつくられます。	ご指摘いただいたご意見は、大綱の素案に関するものではなく、個別の具体的な事項に対するご意見であると考えます。今後、市政運営及び行政改革を推進していく場合の参考にさせていただきます。
14	市の広報は表紙、内容とも充実してきました。大綱中「市が抱える重点課題を正確に情報提供し問題提起しながら、市民の意見、提案を求め、市民と協働したまちづくりを図る」とありますが、まったく同感です。しかし、市民の意見、提案を伝える機会や場が、少ないのではないのでしょうか。	